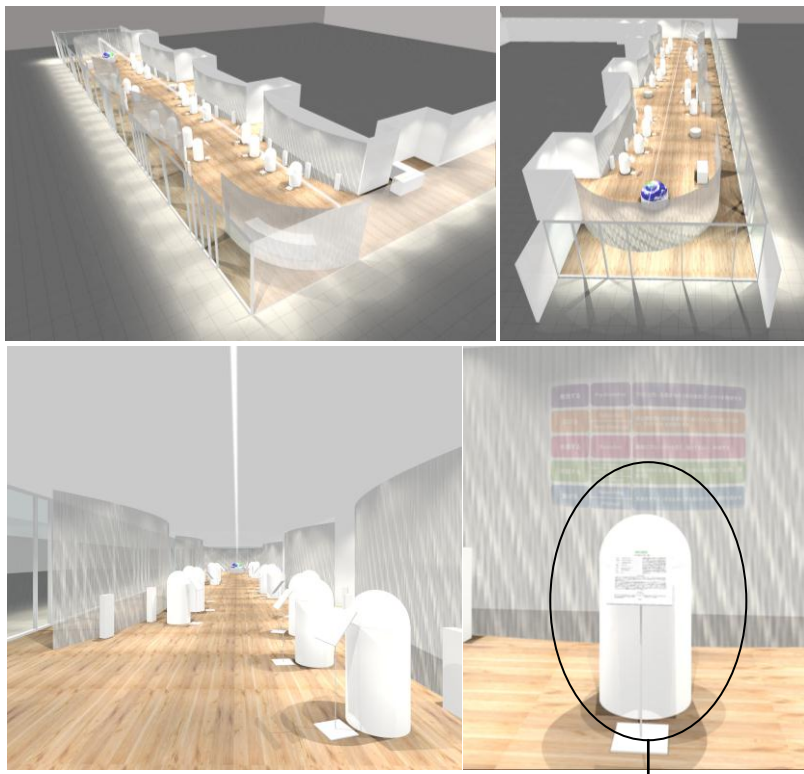


## 会場及び展示物のイメージ



参加企業の取り組みを象徴する造形物が閃光を模した光のカプセルに閉じ込められています。来場者はカプセルに空いた複数の穴より、様々な角度から覗き見ることで現在と未来の変化を感じ取ることができます。

## 5月16日 オープニングカンファレンス スケジュール

13:00 主催者挨拶

第1部 「社会」「デザイン」「社会システム」とは何か？

13:20 講演1 松岡正剛 「日本社会と文化・企業の役割」

14:00 講演2 柏木博様 「社会とデザインの役割」

14:40 講演3 横山禎徳 「社会システムをデザインするとは何か」

15:20 コーヒーブレイク

第2部 「公」・「共」・「私」の役割を考える

15:40 クロストーク（松岡正剛、横山禎徳、柏木博）

16:20 企業の新たな試みとその可能性を模索する

（松岡、横山、柏木、出展企業2社による具体的な事例紹介とディスカッション/  
モデレーター：日本財団CSR企画推進チーム 町井則雄）

17:30 閉会

登壇者：

松岡 正剛（編集工学研究所所長）

雑誌『遊』編集長、東京大学客員教授、帝塚山学院大学教授をへて、現在、編集工学研究所所長・イシス編集学校校長。日本文化、芸術、生命哲学、システム工学など多方面および施策を情報文化技術に応用する「編集工学」を確立。執筆・講演・企画・構成・プロデュース・監修・演出などを数多く手掛ける。また、日本文化研究の第一人者として、「日本という方法」を提示し、独自の日本論を展開している。2000年2月から連載中の壮大なブックナビゲーション「松岡正剛の千夜千冊」は、300万アクセスを超える。現在、平城遷都1300年祭「日本と東アジアの未来を考える委員会」幹事長、「クール・ジャパン官民有識者会議」座長代理ほか、モデレーターとしての仕事も手がけている。

横山 禎徳（社会システムデザイナー）

前川國男建築設計事務所、ディヴィス・ブロディ・アンド・アソシエーツを経て、マッキンゼー・アンド・カンパニー入社。マッキンゼー・アンド・カンパニー東京支社長、産業再生機構非常勤監査役、一橋大学大学院国際企業戦略研究科客員教授等を歴任。現在、三井住友フィナンシャルグループ、三井住友銀行、オリックス生命、社外取締役。東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム（EMP）企画・推進責任者。「社会システム・デザイン」という新しい分野の確立と発展に向けて活動中。東京大学工学部建築学科卒業。ハーバード大学デザイン大学院修士。マサチューセッツ工科大学経営大学院修士。

柏木 博（デザイン評論家）

武蔵野美術大学教授。近代デザイン史専攻。1946年神戸生まれ。武蔵野美術大学卒業。著作『家事の政治学』青土社、『モダンデザイン批判』岩波書店年、『「しきり」の文化論』講談社、『玩物草子』平凡社、『探偵小説の室内』白水社、『わたしの家』亜紀書房ほか多数。展覧会監修：『田中一光回顧展』東京都現代美術館ほか多数。